

# 学びの習慣化メソッド

すべての子供の可能性をひらく「学びに向かう力」を育成するために

## 「何のために学ぶの？」

なりたい自分になるために  
自らの可能性を広げるために  
多くの人とつながり合うために  
そして  
学ぶことそのものを楽しみながら  
生きていくために

その答えは、子供たちの数だけあるのだと思います。自分の中に学ぶ意味を見いだした子供は、自分の人生を切り拓いていく力をもった人になる。私たち学校教育に携わる者の使命は、その答えを、一人一人の子供が自分の中にもつことができるように導くこと・支援することです。それは、時代の風、社会の変化がどれ程激しく大きなものであっても不変だと考えます。



「学びに向かう力」を身に付けた子供たちは、未来を見つめ、学ぶことの価値や必要性を感じながら、自ら学びを進めることができます。

しかしながら、本県の子供たちの実態に目を向けると「授業外での学習時間の確保」や「授業での主体的な学び」に課題が見られるところであり、これは十数年来続くものです。

だからこそ、学びの習慣化を図り、「学びに向かう力」を身に付けさせたい。それが、この「学びの習慣化メソッド」にこめた思いです。

### 本県の子供たちの実態 (R5年度全国学力・学習状況調査の結果より)

- ・授業では、自分で考え、自分から取り組んでいる  
小: 78.1%(全国 78.8%) 中: 78.6%(全国 79.2%)
- ・平日の授業以外の学習時間(小:1時間以上、中:2時間以上)  
小: 56.8%(全国 57.1%) 中: 25.4%(全国 33.7%)
- ・家で自分で計画を立てて勉強している  
小: 72.5%(全国 70.7%) 中: 56.7%(全国 55.0%)

そこで、本メソッドでは、まず「学びに向かう力」というものを具体的に捉えることが必要であると考え、学習指導要領を基に次のように整理しました。さらに、それらを身に付けた具体的な子供の姿を2ページに示しています。

### 「学びに向かう力」



- ・ 主体的に学ぶ態度
- ・ 自分を律する力
- ・ 自分を客観的に把握する力
- ・ よりよい生活や人間関係をつくらうとする態度



3ページ以降には、「学びの習慣化」を図るための方策を3つの視点から示しています。学びの習慣化を図る、それは一朝一夕にはできないことであり、授業の充実や家庭・地域の見守り・支援が必要です。

### 「本メソッド」の構成

- 1 「学びに向かう力」を身に付けた子供の具体的な姿 … P2
- 2 「学びの習慣化」のために必要な視点  
視点1 授業と授業外の学びをつなぐ授業づくり …… P3,4  
視点2 子供が自分で学習や生活をマネジメントする … P5  
視点3 家庭や地域と連携・協働する …………… P6



※本メソッドは、長崎県教育委員会において、令和4・5年度に取り組んだ「学びの活性化」プロジェクトにて作成したものです。